2009 年度アートマイルプロジェクト評価シート

■基本情報について教えてください。

学校名[中央区立月島第三小学校] 担当教諭[山中美保]						
児童生徒の学年・クラス・参加人数:[6年1組34名][6年2組35名][年組名]						
実施期間: 2009年 10月 ~ 2009年 11月						
交流:●・有 国名[] 学校名[] 学年[] 担当教諭[]		
実施教科·時数	教科	単元名		時数		
アートマイルに関連した時間 すべて(総合は外国語活	図画工作科	展覧会共同制作		6時間		
動、環境など中身がわかる						
よう)。必要に応じて行を追加してください。						

■作品について教えてください。

題(テーマ)	平和と森
	中央区内に住む障がいをもった方々を招待して、「つくろう つなごう みんなの森」をテーマ
	に、バリアフリーの展覧会での展示であったので、障がいを持っていてもだれもが楽しめるもの
絵に込めたメッセージ	で、参観者も一緒に森をきづいていくイメージで1枚は地球をとりまく森を描いたり、もう1枚は
	学区域がオリンピックの招致活動の地であったため、森と地球のまわりに世界の人と国旗で囲
	み楽しく歌い踊るようなイメージで描いた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
	7月	「100人の村」の話をし、夏休み前に平	100人の村については、関心をもっていた。平	図画工作
導入		和について話し合いをし、イメージする	和を絵に描いてイメージすることは、難しそうで	科
		絵を夏休み中に1人1人絵に描かせた。	あった。	
情報	8月	個人個人でイメージ画を描くために、調	あまり、深くは調べられていなかった様子であ	図画工作
収集		ベ学習をした子もいた。	った。	科
以朱				
	9月	子どもたちから展覧会委員会を発足し、	似たようなイメージ画が多かったが、クラスによ	図画工作
テーマ		全員の絵の中から、選考したり、組み合	って、イメージするものが若干違いが表れた。	科
検討		わせたりして絵を決めた。		
	10-11	① 展覧会委員会で、下絵を描いた。	大きな絵、広い面積で疲れたようであったが、	図画工作
	月	② その後、クラス毎にグループをつく	協力して作業をすることは、学んでいったかと	科
制作		り、時間で区切って色を塗った。	思う。	
TUTE I		③ 最後に展覧会委員会で仕上げた。	展覧会委員会の子で下絵になった子は、受験	
			に受かったら、来年エジプトへ連れて行っても	
			らうよう保護者に言った子もいた。	
	12月	展覧会での展示	体育館のステージに飾られた絵は大きな絵で	図画工作
		児童、保護者、地域の方の鑑賞	印象に残ったと思われる。また、エジプトに展	科
鑑賞		視覚障がいをもった方には、下絵を立体	示されることは、とても楽しみにしている。	
		コピー機を通して、指で触って絵がわか		
		るように展示した。		

■学習目標と成果はどうでしょうか?(「重視」には指導にあたって重視したものを1位~5位まで記入を、「先生の手応え」はすべてについて以下の1~5で評価してください。)

(5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:まったく関連がなかった)

つけたい力・指導目標	重視	先生の手応え	そう感じた場面・理由
	4		6 年児童は、作品の説明を招待者に説明できた
コミュニケーション・スキル		5 ·④ ·3·2·1	が、物づくりを行った児童は、自分がつくることに
			集中してしまった。
 情報活用能力(収集·発信)		5·4·3· ② ·1	一部の子には、できていたが、全体ではなかっ
用我位用能力(权未·光信)	3,4,2,6		<i>t</i> =.
│ │ 人間関係をつくる(交流相手・学級内)	2	5.4.3.2.1	グループ内では、ほぼ協力できていた。しかし、
八川関係を 2、3(文派相子・子級内)		5.4.0.2.1	展覧会委員の子の負担も多かった。
協同作業をする力(役割・段取り)	1	5 ·(4) ·3·2·1	だいたいの子どもががんばっていた。
	3*(4)*3*2*1		
異文化の理解		5·4·3· ② ·1	深く追求はできなかった。
スペルの左が -			
自文化の理解・自分を見つめる		5.4.3.2.1	リーダー的に動いた子どもたちは、いろいろ考え
	0 7 00 2 1		たりしたが、作業だけの子どももみられた。
表現力	3	5 ·4 ·3·2·1	大きな絵なので、やりがいはあったようで、がん
12.51.73	3*49*3*2*1		ばっていた。
学習を追究する意欲		5.4.3.2.1	意欲的な子とそうでもない子の差があった。
	5		アートマイルの作品は立体コピーの下絵との展
作品を鑑賞する力		5· 4 ·3·2·1	示。個人作品を障がいをもった方への作品鑑賞
			では、説明をがんばって交流出来ていた。

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか?

成果	課題
平和がテーマであったので、障がいをもった方を招待し交流したり、音や	今回は、企業の協力があったが、学校独自で
におい、作品を触ってみたり、作品の説明をすることで、普段は子どもた	の取り組みで行える範囲でよかった。
ちとの接点の少ない障がいをもった方とのふれあいをもつことができた。	

■アートマイルに対する校内・保護者や地域の方の反響はどうでしたか?

担当教諭や子どもたちによる広報の機会	校内・保護者や地域の方からの反響
・3年に1度の校内の展覧会にて発表した。	・アートマイルの絵は保護者は、最高学年の子
・学区域内にある企業の協力を得て、地域の障がいをもった方を招待し、	どもたちが協力して描いた絵が展覧会のステ
子どもたちが展覧会の作品を説明したり、一緒に物づくりをしたりした。	一ジ正面に飾られインパクトも強かったと思わ
・その企業の広報活動で、バリアフリー展覧会として、朝日新聞(東京版)	れる。森のイメージ全体が明るいイメージであ
や MX テレビ、区の広報などで紹介された。	った。

■その他ご感想・アートマイルプロジェクトへの要望などありましたらどうぞ。

日本国内の外国語を活用している学校との交流などの企画ができませんか。できれば、近くであれば実際に出会えたりすることもあるかと思う。時差のない時間にインターネットを介した交流もできれば、取り組みやすい。